

答辞

私は一昨年の四月にベトナムから参りました。ベトナムにも大
学がたくさんありますが、クラスメイトとは違う生活をしたいと
思っ、日本に留学しました。しかし、日本に来たばかりの時、
日本語の勉強について本当に不安でした。自分の日本語能力に自
信がなく、言語の壁で、勉強も生活も本当に困りました。アルバ
イトで店長の指示やお客さんの長崎弁がわからず、怒られること
もありました。

しかし、別科に入ってから、先生たちに様々なことを教えてい
ただきました。日本語の勉強だけではなく、生活のことも人生の
ことについても教えてくださいました。二年後の今、日本語が上
達しただけではなく、考え方もかなり成長したと感じています。
例えば、努力しなければ何事も身につかないということ。また、
アルバイトをして初めて、お金の大切さや両親の苦労がわかりま
した。

さらに、別科では勉強だけでなく、色々な国の友達もできまし
た。最初は日本語ができなかつたので、クラスメイトとお互いに
意思を通じさせるのに時間がかかりましたが、それも面白い経験
でした。私は皆を見て様々なことを学びました。大切なことは自
分で決断しなければならぬということ、自分を信じてさえいれ
ば多くのことが実現できるということ、他にもたくさんのことを
皆さんに教えてもらいました。別科の皆とは、もう離れてしま
いますが、一緒に過ごした別科での生活を忘れません。

この二年間は私にとって意味のある時間でした。もし別科に入
っていないければ、日本語も留学生活もうまくいかなかつたと思
います。

最後にこの二年間私たち留学生を支えてくださった全ての皆
様に心からお礼の言葉を申し上げて、私の挨拶といたします。

令和三年三月十六日

長崎総合科学大学

別科生代表 レ・ベツト・ダツト